

氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗と今後

平成30年9月18日

目次

1	氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略期間中の人口の推移について	
	(1) 自然動態及び社会動態の状況について	2
	(2) 年代別社会動態の状況について	3
	(3) 年齢階級別の人口増減数について	5
2	15の観点について	
	(1) 成果指標の現状について	7
	(2) 成果目標の達成に向けての取り組みについて	8
3	重点施策について	
	(1) KPIの現状について	14
	(2) KPIの達成に向けての取り組みについて	16
4	施策について(参考)	
	(1) KPIの現状	23

1 氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略期間中の人口の推移について

(1) 自然動態及び社会動態の状況について

(単位：人)

氷見市まち・ひと・しごと 創生総合戦略年度		(参考)戦略策定前	戦略期間				目標
		2014年度 (平成26年度) 平成26年1月～12月	2015年度 (平成27年度) 平成27年1月～12月	2016年度 (平成28年度) 平成28年1月～12月	2017年度 (平成29年度) 平成29年1月～12月	2019年度 (平成31年度) 平成31年1月～12月	
自然動態	出生数	273	249	223	230	283	
	死亡数	721	721	759	739	-	
	差引	448	472	536	509	-	
社会動態	転入数	752	723	755	835	882	
	転出数	1,040	1,020	944	1,021	1,020	
	差引	288	297	189	186	138	
差引		736	769	725	695	-	

住民基本台帳人口 (年末)	50,999	49,830	49,105	48,410	-
------------------	--------	--------	--------	--------	---

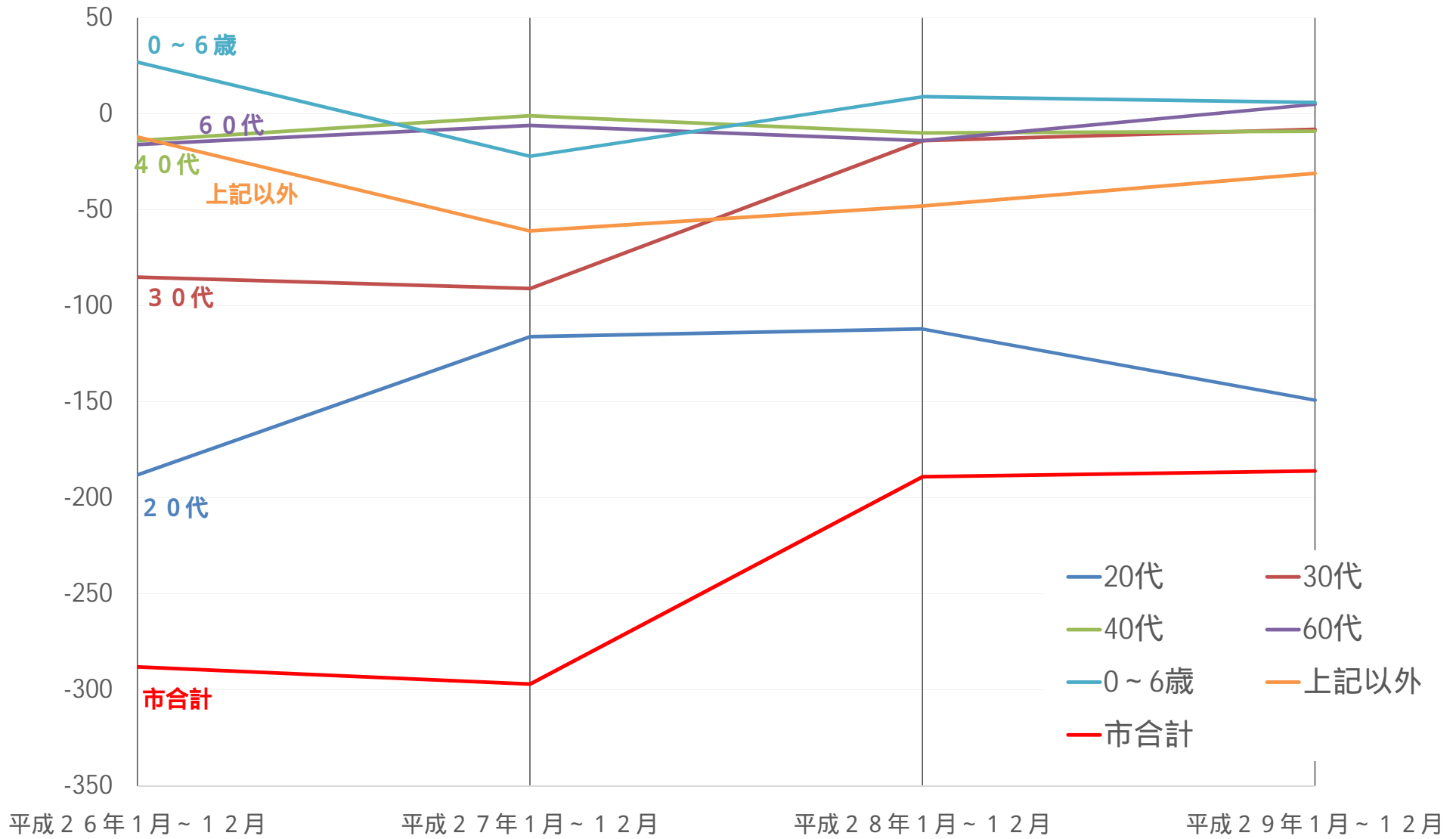
(2) 年代別社会動態の状況について

(単位:人)

氷見市まち・ひと・しごと 創生総合戦略年度	(参考)戦略策定前			戦略期間									目標		
	2014年度 (平成26年度) 平成26年1月~12月			2015年度 (平成27年度) 平成27年1月~12月			2016年度 (平成28年度) 平成28年1月~12月			2017年度 (平成29年度) 平成29年1月~12月			2019年度 (平成31年度) 平成31年1月~12月		
年代	転入	転出	差引	転入	転出	差引	転入	転出	差引	転入	転出	差引	転入	転出	差引
20代	270	458	188	289	405	116	275	387	112	298	447	149	345	458	113
30代	185	270	85	162	253	91	213	227	14	213	221	8	205	250	45
40代	83	97	14	81	82	1	65	75	10	88	97	9	88	97	9
60代	32	48	16	31	37	6	28	42	14	28	23	5	47	48	1
0~6歳	72	45	27	57	79	22	71	62	9	77	71	6	87	35	52
上記以外	110	122	12	103	164	61	103	151	48	131	162	31	110	132	22
市合計	752	1,040	288	723	1,020	297	755	944	189	835	1,021	186	882	1,020	138

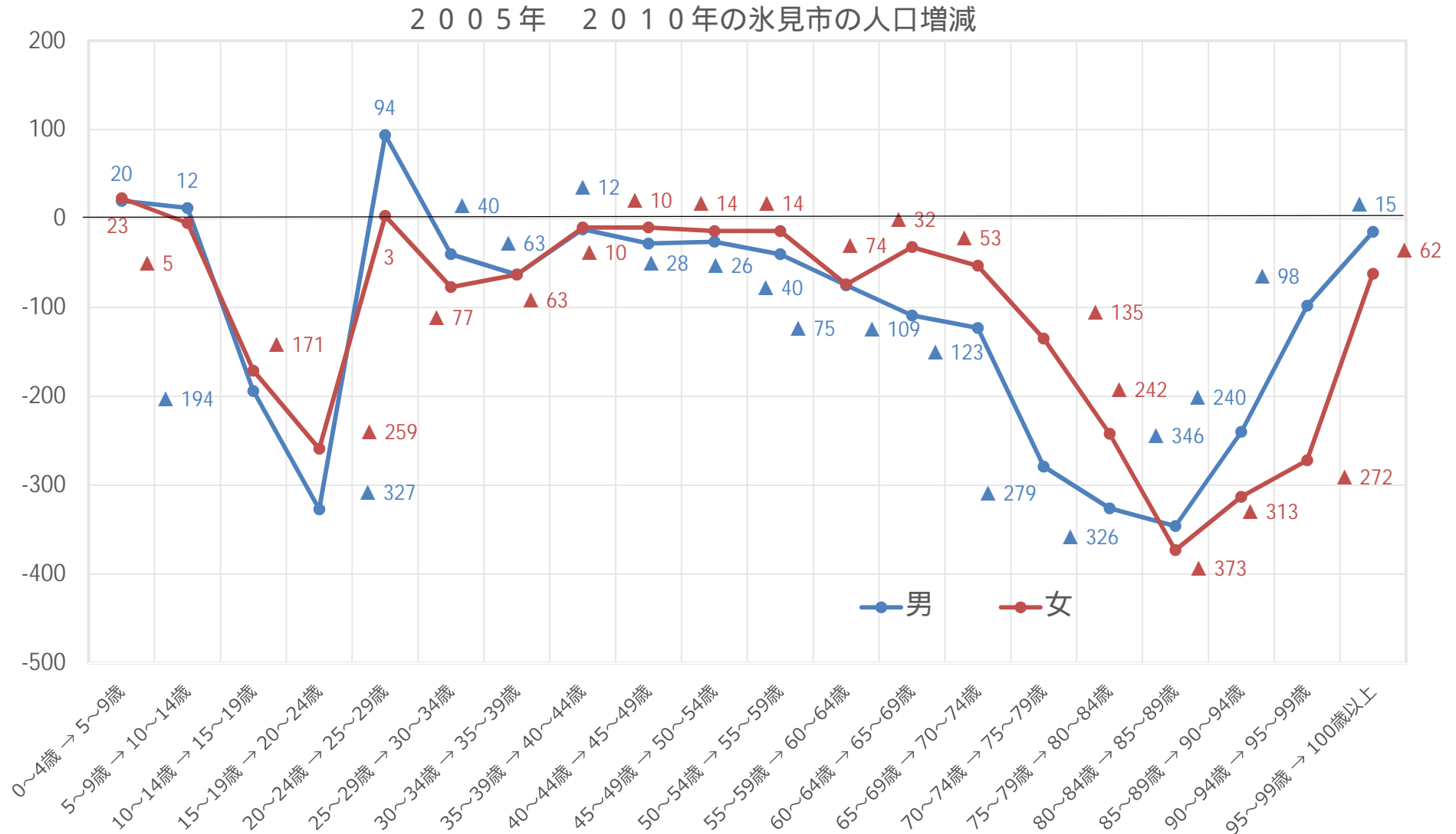
(単位：人)

年代別社会動態の状況について



(3) 年齢階級別の人口増減数について

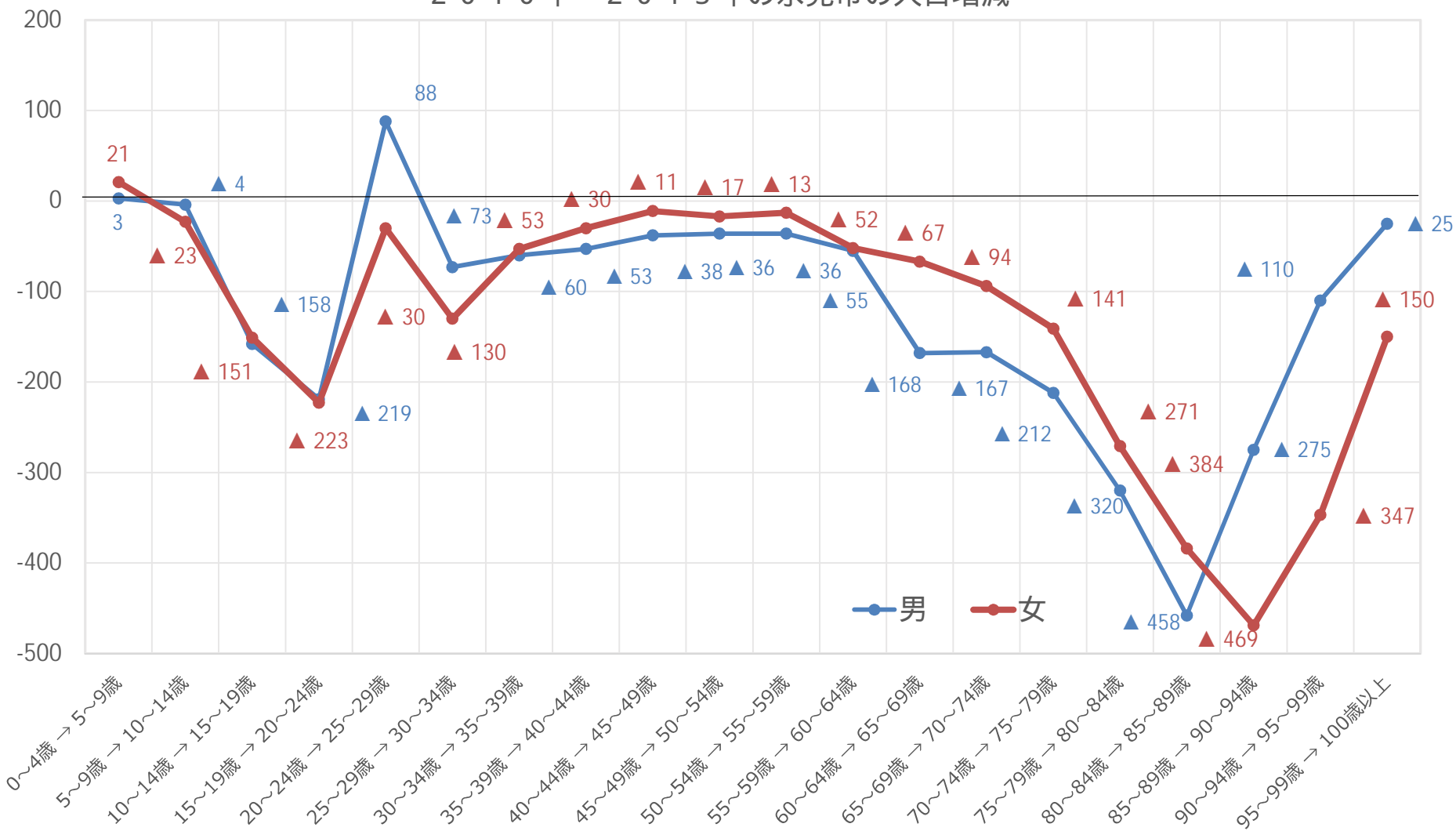
(単位：人)



2005年と2010年の国勢調査の結果を比較し、各年齢階級別の人口増減数を算出

(単位：人)

2010年 2015年の氷見市の人口増減



2010年と2015年の国勢調査の結果を比較し、各年齢階級別の人口増減数を算出

2 15の観点について

(1) 成果指標の現状について

補正後と記載した数値については、理由等を届出時のアンケート結果を基に集計していることから、アンケート回答率により補正を行っているもの。

基本目標	15の観点	成果指標	(参考) 戦略策定前	戦略期間			目標	
			2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2019年度 (平成31年度)	
基本目標 (安定した雇 用を創出す る)	1	氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす	高卒新卒者の市内民間企業への就職率	28.8%	18.2%	29.5%	17.5%	43.2%
	3	氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす	仕事が理由での20代の転入者数(補正後)	-	-	172人	158人	189人
	5	(他地域に通勤する方の転居を減らすために)氷見市に子育てと両立する仕事を増やす	仕事が理由での転出者数(補正後)	-	-	416人	399人	410人
	10	20~40代のI・Jターン者が就きたい仕事を増やす	仕事が理由で転入した20~40代の氷見市出身者以外の数(補正後)	-	-	250人	193人	258人
基本目標 (新しいひと の流れをつく る)	2	20代のUターンを増やす	20代×氷見市出身者の転入数(補正後)	-	-	114人	90人	131人
	4	氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす	氷見市出身者のうち、仕事が事由で高岡市に転出する数(補正後)	-	-	46人	17人	41人
	7	定年後のUターンを増やす	60代×氷見市出身者の転入数(補正後)	-	-	9人	15人	12人
	9	20~40代のI・Jターン者を増やす	20~40代の氷見市出身以外の転入数(補正後)	-	-	374人	318人	382人
	11	他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす	仕事が事由で高岡市から転入する数(補正後)	-	-	33人	31人	34人
	12	定年後のI・Jターンを増やす	60代×氷見市出身以外の転入数(補正後)	-	-	12人	13人	12人
15	未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす	0-6歳の子供の転入数	-	-	74人	65人	90人	
基本目標 (結婚・出 産・子育ての 希望をかなえ る)	6	子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす	子育てを事由とした転入数(補正後)	-	-	42人	20人	54人
	13	婚姻数を増やす	婚姻数(4月~3月)	174件	205件	205件	171件	180件
	14	出生数を増やす	出生数(4月~3月)	273人	238人	239人	225人	283人
基本目標 (安心な暮ら しを守る)	8	長生きする&健康寿命を延ばす	65歳以上の要支援・要介護率	18.3%	18.0%	18.7%	18.5%	18.0%

(2)成果目標の達成に向けての取り組みについて

基本目標	15の観点	成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕		現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み
基本目標 (安定した雇用を創出する)	1 氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす	高卒新卒者の市内民間企業への就職率	年度末	43.2%	<p>17.5% 平成29年度民間企業就職希望の氷見高校卒業生40名のうち市内民間企業への就職者は7名</p>	<p>市内に高校生が就職したいと思う求人(希望職業)が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人が製造業、医療・福祉・教育、宿泊・飲食サービス業に偏っており、高校生が望む職種(事務職)の求人が少ない。 ・高岡市や射水市、富山市などで、多様な職種の求人がある。(大型ショッピングセンター等) 	<p>高校生が希望する労働条件(有休取得、育児休暇、職場環境等)の整備を事業者に対して促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生が就職をしたいと思う事業所(週休2日制、年休完全取得、子育て支援等の労働条件が整備されている優良企業)になるよう、事業所へ働きかける。 ・事業者に対して、積極的に地元高校生を採用するよう促す。 <p>小学生～高校生への地元企業への理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所等と連携し、小学生～高校生に市内の事業所を紹介・体験してもらうことで、地元にどのような事業所があるのかを紹介し、理解を深め、将来の就職先としての選択肢に加えられるようにする。 <p>〔小学生(おしごと探検隊)、中学生(14歳の挑戦)、高校生(企業訪問)〕</p>

基本目標	15の観点	成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕	現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み		
基本目標 (安定した雇用を創出する)	3	氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす	年度末	189人	158人	<p>市内に県外在住の求職者(大学生等)が就職したいと思うような求人(希望職業)が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求人が製造業、医療・福祉・教育、宿泊・飲食サービス業に偏っており、大学生が望む職種(事務職)の求人が少ない。 ・都市圏へ進学した大学生が氷見市内の事業者について知る機会が少なく、就職先の候補として認識されていない。 	<p>企業立地の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能越自動車道の4つのICを有する利便性を活かし、企業や研究施設等の誘致を行う。 名城大学農学部との連携等による産業の活性化 ・本市の農林水産業の特色を活かして新たな産業起こしや商品開発等を行って雇用を増やし、農林水産系大学の学生や社会人等のUIターンしやすい環境を整える。なお、名城大学農学部の指定校推薦に、今年度の卒業生から氷見高校農業科学科を対象とすることに内定 創業支援の取り組み ・氷見商工会議所と連携し、創業塾を開催、創業を支援する。 求職者が希望する労働条件(有休取得、育児休暇、職場環境等)の整備の促進 ・求職者が就職をしたいと思うような事業所(週休2日制、年休完全取得、子育て支援等の労働条件が整備されている優良企業)を増やすことでUターン希望者の希望にかなった職場環境となるよう促す。 市内の事業所におけるインターンシップの積極的な受け入れの促進 ふるさとワーキングホリデーによる大都市圏からの移住者の確保 ・都市圏の大学生や求職者に氷見市内の事業所での労働を体験してもらい理解を深めることにより移住につなげる。 子育て等の合間の時間と自分のスキルを活かした仕事に対する支援 ・小さな仕事づくり塾等を開催するなどの副業等を始めたい人に対する支援や、マルシェ等の開催を通して出店の機会を提供できる取り組みを推進する。 	
	5	(他地域に通勤する方の転居を減らすために)氷見市に子育てと両立する仕事を増やす		410人				399人
	10	20~40代のI・Jターン者が就きたい仕事を増やす		258人				193人

基本目標	15の観点	成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕	現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み	
基本目標 (新しいひとの流れをつくる)	2	20代のUターンを増やす	20代×氷見市出身者の転入数(補正後)	131人	90人	都市圏などに進学した大学生等がUターンしやすい環境づくり	ぶり奨学プログラムの実施 ・平成29年度から社会実験として実施しているぶり奨学プログラムにおいて、登録者の中で昨年度末に初めての卒業生10人が出て、そのうち7人が氷見市に戻ってきている状況である。平成31年度までの社会実験中であるが、制度の周知に努め、登録者数の増加を目指すとともに、登録している学生の市内企業等への理解を深めるために企業説明会等の開催を案内し、参加を促す。
	4	氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす	氷見市出身者のうち、仕事が事由で高岡市に転出する数(補正後)	41人	17人	氷見市でのマイホームの建築	定住等補助金による支援 ・ふるさと定住促進に係る補助制度により氷見市への定住を促す。
	7	定年後のUターンを増やす	60代×氷見市出身者の転入数(補正後)	12人	15人	移住先として選んでもらうきっかけづくり	きっかけとなる企画の実施 ・都市圏で氷見市に対する関心を高めるとともに、特に関心が高い人たちのコミュニティを形成するとともに、空き店舗ツアー等を開催して、様々なニーズに対して本市への移住のきっかけとなる取り組みを実施する。
	9	20～40代のI・Jターン者を増やす	20～40代の氷見市出身以外の転入数(補正後)	382人	318人		
	11	他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす	仕事が事由で高岡市から転入する数(補正後)	34人	31人	移住希望者の住居の確保	移住希望者の希望に応える空き家等の確保 ・移住希望者の住居に求める条件に応えるため、提供できる空き家の質及び量を確保できるよう、空き家の所有者との協議を積極的に行い、空き家バンク登録を促す。登録希望する物件については富山県宅地建物取引業協会高岡支部による建物診断を受け、活用可能な物件について移住希望者に紹介する。
	12	定年後のI・Jターンを増やす	60代×氷見市出身者以外の転入数(補正後)	12人	13人		

基本目標	15の観点		成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕		現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み
基本目標 (新しいひとの流れをつくる)	15	未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす	0～6歳の子供の転入数	年度末	90人	65人	魅力ある子育て環境の整備 子育て支援の充実 ・昨年度から、保育料等の第2子以降無料化や「家庭で子育て応援金」及び「出生祝い金」制度の創設、子育て世代包括支援センターの開設などを進めるとともに、市内全地区で学童保育を開設し、その成果等を確認しながら、親子で遊べる場を創出するなど、子育てしやすい環境の更なる充実を図る。 教育環境の充実 ・小中学校において、普通教室で冷暖房が完備するとともに、授業に活用する電子黒板やタブレットパソコンをすべての学校に配備しており、今後更なる充実を図り、新学習指導要領に基づいて行われる小学校の外国語教育を2年間前倒しするためのALTの増員や、小中連携教育を推進する。	
	6	子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす	子育てを事由とした転入者数(補正後)		54人	20人		

基本目標	15の観点	成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕	現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み
基本目標 (結婚・出産・子育ての希望をかなえる)	13	婚姻数を増やす	年度未	180人	171人	未婚化の進展 出会うきっかけづくりから結婚までのサポート ・婚活イベントや縁結びおせっかいさん等の取り組みを進め、出会いから交際、成婚までのサポートを行う。 ・他市町村と連携してイベントを開催するなど、未婚の市民が抵抗なく婚活イベントに参加できるよう工夫を施す。 結婚に対する意識を高めるための人生設計を考える機会の提供 ・ライフプランセミナーを取り入れた婚活スクール付きのイベントを継続して開催するなど、結婚への意識を高める取り組みを行う。
	14	出生数を増やす	平成31年度末	283人	225人	晩婚化の進展 早婚による子ども数の増 ・若いうちからライフプランを考える機会を提供することにより、よりよい選択ができるよう取り組む。 家庭で希望する子ども数の希望をかなえる 経済的な支援 ・保育料等の第2子以降無料化や「家庭で子育て応援金」及び「出生祝い金」制度の創設、不妊治療費助成などの子育てや出産につながる経済的支援を実施し、その成果等を踏まえ今後の取り組みを検討する。 年齢によるリスクの回避 ・義務教育期間にライフプランについて考える機会を提供するなどの早期の結婚や出産の早期化につながる取り組みを検討する。 妊娠等に対する精神的負担の軽減 ・開設した子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠や出産等に対する相談や支援などに積極的に取り組む。

基本目標	15の観点	成果指標	目標 〔2019年度(平成31年度)〕	現状 (平成29年度)	問題点・課題	今後の取り組み	
基本目標 (安心な暮らしを守る)	8	長生きする&健康寿命を延ばす	65歳以上の要支援・要介護率	平成31年度末 18.0%	18.5%	生きがいづくりの多様化 ・価値観やライフスタイルの多様化から、従来の老人クラブ等の団体活動から個々の嗜好にあった個人活動へ移行している。	多様な価値観やライフスタイルに合った活動機会の提供 ・従来の老人クラブ活動のほかに、個人でも参加できる生涯学習や生涯スポーツ、健康教育等を充実させるとともに、若い世代から市民の地域活動への参画意識を高める取り組みを推進する。
						本市における生活習慣病の多さ ・氷見市は生活習慣病の人が多く、健康に関する意識も低く、健康につながる行動が少ない。	市民の健康に対する意識及び行動の向上 ・健康寿命の延伸にかかるポイント制の実施によりスポーツ教室や健康教室等への参加を促す。 ・スポーツ、栄養及び食品などの多くの分野からの協力により、市民の健康に対する意識向上及び行動につながる取り組みを企画する。 ・健康に対する意識が低い人にも参加してもらえるように、エンタメ的要素を含んだイベント(県のウォーキングイベントや児童館での子ども向けイベントとの同時開催など)を企画する。

3 重点施策について

(1) KPIの現状について

基本目標	到達目標	重点施策	KPI	KPIの調査方法	実績値			目標値	
					平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末	
基本目標 (安定した雇用を創出する)	1	市内消費増加	市内消費拡大施策推進	市内消費率(市民アンケート)	市民アンケート調査の結果、「地域内の産品を積極的に買っていますか」という設問に対し、当てはまると回答した人の割合	20.3%	20.6%	21.7%	26.3%
	2	市外販売等増加	市内産品一括販売体制の構築	一括販売体制機能での売上額	地域商社による一括販売体制機能での売上額	-	-	911千円	(変更) 20,000千円 28,000千円
	3	観光消費増加	観光客の消費拡大施策推進	観光消費単価	観光客動向調査の結果(日帰り客)	-	-	4,972円	5,122円
					観光客動向調査の結果(宿泊客)	-	-	16,794円	17,044円
基本目標 (新しいひとの流れをつくる)	1	Uターンのきっかけ	ぶり奨学プログラム推進	ぶり奨学プログラム新規登録者数	ぶり奨学プログラムに新たに登録した人数	-	65人	60人	各年度 90人
	2	IJターンの一貫支援	移住定住促進事業推進	・移住センター経由での移住者数 ・空き家バンク登録数	氷見市IJU応援センターを通して、氷見市に移住した人数 空き家情報バンクに新規登録された物件数	-	11人 10棟	18人 21棟	35人 20棟
基本目標 (結婚・出産・子育ての希望をかなえる)	1	結婚のきっかけ	結婚の希望をかなえる	おせっかいさんによるひみ婚会員引き合わせ数	おせっかいさんによるひみ婚会員引き合わせ数	0人	26人 13組	54人 27組	各年度 100人 50組
	2	出産	切れ目ない支援	出産前後の相談件数	出産前後の相談件数	577件	566件	522件	平成27年度及び 平成28年度以上 577件以上
	3	子育て	子育ての質的向上	子育てが楽しいと感じている子育て世代の割合(市民アンケート)	市民アンケート調査の結果、「子育てが楽しいと思いますか」という設問に対し、当てはまると回答した人の割合	41.6%	38.4%	38.6%	平成27年度及び 平成28年度以上 41.6%以上

基本目標	到達目標	重点施策	KPI	KPIの調査方法	実績値			目標値
					平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末
基本目標 (結婚・出産・子育ての希望をかなえる)	4 教育	教育の質的向上	全国学力学習状況調査 氷見市の平均点	全国学力学習状況調査 小6国語Aの平均点 ()は県の平均点	(72.9) 73.4	(75.0) 74.6	(78.0) 76.0	県平均以上
				全国学力学習状況調査 小6国語Bの平均点 ()は県の平均点	(70.1) 68.7	(60.5) 57.6	(60.0) 58.0	
				全国学力学習状況調査 小6算数Aの平均点 ()は県の平均点	(78.5) 77.4	(80.5) 79.4	(82.0) 81.0	
				全国学力学習状況調査 小6算数Bの平均点 ()は県の平均点	(47.5) 46.2	(51.4) 48.7	(47.0) 46.0	
				全国学力学習状況調査 中3国語Aの平均点 ()は県の平均点	(78.1) 77.8	(78.0) 78.0	(80.0) 78.0	
				全国学力学習状況調査 中3国語Bの平均点 ()は県の平均点	(68.2) 68.2	(70.5) 70.0	(75.0) 72.0	
				全国学力学習状況調査 中3数学Aの平均点 ()は県の平均点	(67.1) 67.5	(65.4) 64.7	(68.0) 69.0	
				全国学力学習状況調査 中3数学Bの平均点 ()は県の平均点	(44.5) 44.5	(49.1) 48.3	(50.0) 51.0	
基本目標 (安心な暮らしを守る)	1 健康寿命延伸	病気の早期発見、早期対策	特定健診受診率	特定健診受診率	46.3%	45.7%	46.8% (速報値)	平成27年度及び 平成28年度以上 46.3%以上
			メタボリックシンドロームの率	特定健診の結果メタボリックシンドローム非該当であった人の割合	66.8%	68.0%	67.6%	平成27年度及び 平成28年度以上 68.0%以上
	2 地域包括ケア	地域における安心の提供	病気や介護の時に地域に頼れる人がいると思う人の割合(市民アンケート)	市民アンケート調査の結果、「将来、あるいは現在、病気や介護が必要になったときに地域に頼れる人がいますか」という設問に対し、当てはまると回答した人の割合	25.3%	19.1%	27.0%	平成27年度及び 平成28年度以上 25.3%以上
	3 協働の推進	各種協働策の推進	地域づくり協議会の数	市内21地区における地域づくり協議会の数	5団体	5団体	6団体	21団体
4 地域課題ビジネス化	自治機能の代替	コミュニティビジネス創業件数	コミュニティビジネスの創業支援等補助件数	0件	1件	2件	累計 12件 15件(協力隊)	

(2) KPIの達成に向けての取り組みについて

基本目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本目標 (安定した雇用を創出する)	1 市内消費増加	市内消費拡大施策推進	市内消費率 (アンケート)	20.3%	20.6%	21.7%	26.3%	域内消費キャンペーンの実施 ・夜のまちなかグル巡りを開催 域内消費の拡大 ・イベントをとおして多くの飲食店が本イベントに合わせて新しいメニューを提供するなど、お客様のニーズを探りながら店の魅力アップを図った結果新規客を獲得、域内消費の拡大を図った。	夜のまちなか巡りチケット販売額 3,891,000円	イベントに頼らない域内消費の活性化(地元製品の消費拡大)	地域内消費の喚起 ・商会議所が実施する消費拡大プロジェクト及び地域内商品券の発行に対する支援や地域通貨の検討、地域内消費拡大のためのキャンペーン実施に取り組む。 ふるさと納税の推進 ・ふるさと納税を推進し、返礼品として地域内商品の生産の拡大を図る。 小中学校・保育園の給食への氷見の魚の供給体制の構築 ・鮮魚商や水産加工業者のマッチングを図り、魚の購入、加工、保存及び納入の流れの構築に取り組む。 魚食の消費拡大の推進 ・給食への魚の提供により氷見の魚に対する好奇心や味覚を形成し、魚離れの改善を図ると共に、お魚さばき方教室や水産加工体験教室を開催し、地元水産物のPRと併せて魚の調理方法を普及することにより魚食の消費拡大を推進する。
	2 市外販売等増加	市内産品一括販売体制の構築	一括販売体制機能での売上額	-	-	911千円	28,000千円	地域商社の立ち上げに向けた実証実験の実施 ・HP「極み!とれとれ氷見」を立ち上げ、ネット販売を開始した。	ネット販売額 911千円 氷見市のPR効果 ・市の自然景観や観光動画などを並行してアップすることで特産品だけでなく、氷見も合わせてPRした。	取扱い商品数の不足 消費者を呼び寄せる取り組み E-コマースの導入	PB商品や企業コラボ商品等の開発 季節限定品や福袋など消費者の関心を集める取り組みの企画 購買意欲を刺激する取り組みの検討 ・ポイント制、送料無料等消費者にお得な制度等を検討する。 ネットや新聞等での広告及びヤフーショッピングや楽天市場への参入の検討

基本目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本目標 (安定した雇用を創出する)	3 観光消費増加	観光客の消費拡大施策推進	観光消費単価	-	-	4,972円	5,122円	観光消費キャンペーンの実施 ・「ひみ食彩まつり」をポスター掲示やマスメディアへの広告掲載等を通してPRすることにより、市内はもとより県内外からの観光客を誘客し、一層の消費拡大を図った。 首都圏でのPR活動 ・マスメディアを対象とした市長のトップセールスによる「氷見の寒ブリ観光」説明会の開催及び首都圏在住の消費者を対象としたイベントを開催した。	ひみ食彩まつりでの売上増 ・ひみ食彩まつりには2万3千人の来場があり、8割以上の店舗で予想を上回る売上を挙げた。 氷見市の特産品や観光地のPR効果 ・首都圏のメディア関係者に記事等で氷見の魅力を発信してもらうことができ、特製ランチや特産品の販売等商品の売れ行きは好調で、多くの商品が完売した。	観光客動向調査の手法確立 氷見の魚以外の資源のブランディング 市内宿泊施設の生産性向上 滞在時間を伸ばすためのプログラム・商品の開発	地方創生交付金活用事業「ひみ食文化推進事業」の実施 地方創生交付金活用事業「まんがのまちづくり推進事業」の実施 宿泊施設の高付加価値化への取り組み検討のための情報収集 体験メニューの開発・造成 ・水産加工業を生かした体験ツアーの実施や既存メニューの質の向上などに取り組む 宿泊施設独自の献立を核としたプラン数の増加 ・氷見市観光協会を中心とした「氷見三昧」や「ひみぶりフェア」などのキャンペーンの継続
				-	-	16,794円	17,044円				
基本目標 (新しいひとの流れをつくる)	1 Uターンのきっかけ	ぶり奨学プログラム推進	ぶり奨学プログラム新規登録者数	-	65人	60人	各年度90人	ぶり奨学プログラムの実施 平成29年度末時点登録者数125人 平成29年度大学等卒業生10名中7名のUターン	新規登録者数の増加	ぶり奨学プログラムの周知及び実施 ・平成29年度から社会実験として実施しているぶり奨学プログラムにおいて、登録者の中で昨年度末に初めての卒業生10人が出て、そのうち7人が氷見市に戻ってきている状況である。平成31年度までの社会実験中であるが、制度の周知に努め、登録者数の増加を目指すとともに、登録している学生の市内企業等への理解を深めるために企業説明会等の開催を案内し、参加を促す。	

基本 目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本 目標 (新しい ひと の流れを つくる)	IJターンの一貫 支援	移住定住促進事業推進	・移住センター経由での移住者数	-	11人	18人	35人	移住へのきっかけづくり ・Facebookページの運営等とおおして、氷見市への訪問や移住・定住を誘発する情報発信を行った。 ・首都圏で個別相談会等のイベントに参加し、氷見市の魅力をPRした。 ・氷見市での暮らしや仕事のイメージを持ってもらうための取り組みとして「暮らし体感ツアー」を企画・実施した。	IJU応援センター経由での移住者の数 18人 暮らし体感ツアーへの参加者数 のべ103人	移住へのきっかけづくり	氷見コミュニティの形成 ・都心部で氷見市単独でのイベントを開催し、氷見に強い関心を持つ人たちのコミュニティ掲載を図り、移住定住への意欲を醸成しやすい環境づくりに取り組む。 空き店舗ツアーの開催 ・移住を機に創業または開業を目指す方を対象として、空き店舗ツアーを開催し、物件探しから店舗設計、資金計画、出店まで魅力的な店舗を作るためのフォローアップに取り組む。
			・空き家バンク登録数	-	10棟	21棟	20棟	空き家物件の発掘 ・市内の空き家の所在状況等の把握を行った。	空き家バンクへの新規登録数 21棟	空き家登録数の増加	空き家所有者の意志確認 ・行政の情報を活用することで積極的に空き家の所有者とコンタクトをとり、空き家バンクを紹介するとともに、登録への意志確認を行う。 空き家流通へ向けた支援 ・公益社団法人富山県宅地建物取引業協会高岡支部とタイアップし、空き家バンクへの登録希望者の空き家を診断する。 ・診断の結果、直ちに流通させることの難しい空き家（仏壇等の家財道具が残っているなど）については空き家カルテを作成し、現状の問題点と解決策を整理し、有効活用可能な物件については、移住希望者と空き家所有者とのマッチングを図る。

基本 目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本 目標 (結 婚・ 出 産・ 子育 ての 希望 を か な え る)	1 結婚の きっかけ	結婚の希望 をかなえる	おせっかい さんによる ひみ婚会員 引き合わせ 数	0人	26人 13組	54人 27組	各年度 100人 50組	縁結びおせっかいさんによる引 き合わせ ・ひみ婚会員に登録した方を主な 対象として引き合わせを行っている が、登録外の方についても柔軟 に幅広く対応してもらっている。 ひみ婚会員の増加への取り組み ・婚活イベント等とおして、ひ み婚会員への登録を進めている。	平成29年度中おせっか いさんによる引き合わせ件 数 54名(27組) *ひみ婚会員のみで集計 ひみ婚会員登録者数 (平成29年度末時点) 男性 42名 市内37名 市外5名 女性 19名 市内17名 市外2名	ひみ婚会員の不 足 マッチング数の 増加 参加しやすいイ ベントの企画	ひみ婚会員の増加への取り組み ・引き合わせ数を増やすため、市外の女性 のひみ婚会員への登録者増に取り組む。 ・準会員制度を設け情報提供を行い、正会 員への入り口とする。 マッチングの幅の増加への取り組み ・30代及び40代の縁結びおせっかいさん登 録者数増加を図る。 参加しやすいイベントの企画 ・他の市町村と連携するなどして、イベン ト開催場所を市外にするなど、氷見市民が 参加しやすい企画を検討する。
	2 出産	切れ目ない 支援	出産前後の 相談件数	577件	566件	522件	577件超	妊娠や出産等に係る不安の解消 ・子育て世代包括支援センターの 開設に向け、妊娠中から支援が必 要な妊婦を把握し、面談等とお して妊娠や出産等に係る不安の解 消に取り組んだ。	妊娠妊娠中から支援が必 要な妊婦を把握し、面談等 をとおして妊娠や出産等に 係る不安の解消を図った。	子育て世代包括 支援センターの活 動周知	子育て世代包括支援センターの活動周知 ・リーフレットの配布や広報ひみなどを活 用して、妊娠・出産・子育てに関する身近 な相談窓口であることを広く市民に周知す る。
	3 子育て	子育ての質 的向上	子育てが楽 しいと感じ ている子育 て世代の割 合(アン ケート)		41.6%	38.4%	38.6%	41.6%超	子育て支援の充実 ・昨年度から、保育料等の第2子 以降無料化や「家庭で子育て応援 金」及び「出生祝い金」制度の創 設、子育て世代包括支援センター の開設などを進めるとともに、市 内全地区で学童保育を開設した。	昨年度に比べて若干では あるが高くなっており、昨 年度からの施策の効果が期 待される。	魅力ある子育て 環境の整備

基本 目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本 目標 (結婚・ 出産・ 子育ての 希望を かなえる)	4 教育	教育の質的 向上	全国学力学習状況調査 小6国語Aの平均点 ()は県の平均点	(72.9) 73.4	(75.0) 74.6	(78.0) 76.0	県平均 以上	教育環境の充実 ・小中学校において、普通教室で冷暖房が完備するとともに、授業に活用する電子黒板やタブレットパソコンをすべての学校に配備した。	中3数A及び数BについてはKPIの数値を達成	質の高い教育環境の充実	教育環境の充実 ・児童、生徒にとって楽しく分かりやすい国語、算数・数学の授業にするためのタブレットパソコン配備台数を増やす。 ・国語、算数・数学の授業において個別指導を充実させるために学習サポーターを増やす。 ・新学習指導要領に基づいて行われる小学校の外国語教育を2年間前倒しするためのALTの増員や小中連携教育の推進を図る。 ・生涯学習ボランティアや地域人材を一層活用する仕組みを構築し、放課後子ども教室や中学生未来応援塾等の取り組みの拡充を図る。
			全国学力学習状況調査 小6国語Bの平均点 ()は県の平均点	(70.1) 68.7	(60.5) 57.6	(60.0) 58.0					
			全国学力学習状況調査 小6算数Aの平均点 ()は県の平均点	(78.5) 77.4	(80.5) 79.4	(82.0) 81.0					
			全国学力学習状況調査 小6算数Bの平均点 ()は県の平均点	(47.5) 46.2	(51.4) 48.7	(47.0) 46.0					
			全国学力学習状況調査 中3国語Aの平均点 ()は県の平均点	(78.1) 77.8	(78.0) 78.0	(80.0) 78.0					
			全国学力学習状況調査 中3国語Bの平均点 ()は県の平均点	(68.2) 68.2	(70.5) 70.0	(75.0) 72.0					
			全国学力学習状況調査 中3数Aの平均点 ()は県の平均点	(67.1) 67.5	(65.4) 64.7	(68.0) 69.0					
			全国学力学習状況調査 中3数Bの平均点 ()は県の平均点	(44.5) 44.5	(49.1) 48.3	(50.0) 51.0					

基本 目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本 目標 (安心な暮らしを守る)	1 健康寿命延伸	病気の早期発見、早期対策	特定健診受診率	46.3%	45.7%	46.8% (速報値)	46.3%超	健診対象者への通知 ・節目健診の対象者には電話で、 その他の人にははがきで全員に健診の案内を行った。	KPIの数値は達成	受診率向上の取り組み	健康寿命の延伸にかかるポイント制の実施 受診率向上の取り組み ・病院で通院中に行った検査の結果を特定健診に活用できるよう医師会との連携体制を構築する。
			特定健診の結果メタボリックシンドローム非該当であった人の割合	66.8%	68.0%	67.6%	平成28年度超 68.0%超	生活習慣病予防のための取り組み ・生活習慣の改善につながる健康教室(運動実践教室)を開催した。 ・健康に関するイベント(氷見市民健康大学祭等)を開催し、生活習慣改善に関する啓発活動を行った。	KPIの数値は未達成	本市における生活習慣病の多さ ・氷見市は生活習慣病の人が多く、健康に関する意識が低く、健康につながる行動が少ない。	市民の健康に対する意識・行動の向上 ・健康寿命の延伸にかかるポイント制の実施によりスポーツ教室や健康教室等への参加を促す。 ・スポーツ、栄養及び食品などの多くの分野からの協力により、市民の健康に対する意識向上及び行動につながる取り組みを企画する。 ・健康に対する意識の低い人にも参加してもらえるように、エンタメ的要素を含んだイベント(県のウォーキングイベントや児童館での子ども向けイベントとの同時開催など)を企画する。
	2 地域包括ケア	地域における安心の提供	病気や介護の時に地域に頼れる人がいると思う人の割合(アンケート)	25.3%	19.1%	27.0%	25.3%超	在宅医療と介護の連携強化 ・市民フォーラムを開催し、市民の在宅医療への理解増進を図った。 「通いの場」の創設 ・現在74か所で行われている「きときと100歳体操」による身近な地域での「通いの場」の創設により、お互い気にかけて支えあう地域づくりに取り組んだ。	KPIの数値は達成	在宅医療への理解獲得	在宅医療への理解獲得 ・地域へ足を運び、積極的な啓発活動に取り組む。 介護予防の推進 ・介護が必要になる恐れの高い高齢者に対する機能訓練を充実及び健康な高齢者に対する介護予防教室の充実を図る。 ・行政放送チャンネル等の介護予防番組の充実に取り組む。 市民主体の通いの場づくりの推進 ・地域の公民館等を使用した「きときと100歳体操」の普及に取り組む。 ・通いの場を通じた高齢者の社会参加とその活動を支える人材育成に取り組む。

基本 目標	到達目標	重点施策	KPI	実績値			目標値	取り組み	成果	課題	今後の取り組み
				平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成31年度末				
基本 目標 (安心な暮らしを守る)	3 協働の推進	各種協働策の推進	地域づくり協議会の数	5団体	5団体	6団体	21団体	地域づくり協議会の設立を推進した。	準備会2会の設立 4地区で設立へ向けた検討を開始	地域づくり協議会に関する理解の普及 ・地区ごとに必要性に対する考え方にバラツキがある。 協議会設立のための人材の育成	地域づくり協議会に関する理解の普及 ・すでに地域づくり協議会を設立した地区の取り組み事例を紹介するなど、地域づくり協議会に対する理解の普及を図る。
	4 地域課題ビジネス化	自治機能の代替	コミュニティビジネス創業件数	0件	1件	2件	累計12件 15件 (協力隊)	おらっちゃん創生支援事業の実施 地域おこし協力隊の活動支援	地域おこし協力隊の活動支援について ・現在創業に向けた準備を進めている隊員がいることから、今後成果が出てくるのが期待される。	コミュニティビジネスに取り組む主体づくり コミュニティビジネス創業のノウハウの獲得	コミュニティビジネスに取り組む主体となりうる地域づくり協議会の設立を促進する。 コミュニティビジネス創業のノウハウの獲得 ・コミュニティビジネスの成功例を紹介するなど、先進事例からコミュニティビジネス創業のノウハウを得る機会を提供する。

4 施策について（参考）

（1）施策のKPIの現状

基本目標	到達目標	施策（達成目標）	KPI・指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	平成31年度目標
基本目標 (安定した雇用を創出する) 氷見市の特色を活かし、時代の流れに対応しながら魅力的な雇用を増やす 【めざす成果（15の観点）】 氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす 氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす (他地域に通勤する方の転居を減らすために) 氷見市に子育てと両立する仕事を増やす 20～40代のIJターン者が就きたい仕事を増やす	1. 氷見市の海・里・山の幸の魅力や、統制を活かしたビジネス化の実施	「食文化×女性の感性」による新産業創出	食文化×女性の創業支援数	2件	2件	4件	8件	累計12件
		氷見産品を加工した製品開発と販売網拡充	氷見産品を加工した製品開発件数	3件	5件	17件	25件	累計36件
		地域の強み（一次産業、宿泊業）を核とした新業態の形成	宿泊施設独自の体験プログラムや献立・お土産を核としたプラン数	-	-	-		累計12件
		地域の困りごとのビジネス化支援	地域の困りごとのビジネス件数	0件	0件	0件	0件	累計12件
		IT関連の創業・企業におけるIT利用の促進	IT関連の事業の増加件数	-	-	-		各年度2件
		副業者の増加による地場産業の多様化	副業(小さな創業)の支援数	0件	2件	21件	23件	累計24件
	2. 氷見市内での資金循環の維持・加速	大規模工場・大企業の雇用の維持・増加	市内の大規模工場・大企業の雇用者数	973人	926人	892人		各年度 平成27年度超 973人超
		既存商店・会社の事業承継の支援	事業承継実施件数	-	-	-		各年度5件
		コミュニティビジネスの創業支援	コミュニティビジネス創業件数	0件	0件	0件	0件	累計12件 15件(協力隊)
		市内異業種の連携	異業種交流事業を経て生じた連携の件数	-	-	-	-	累計10件
		地域内消費（地産地消など）の促進	地域内の産品を積極的に買っていると回答した消費者の割合	20.3%	20.6%	21.7%		各年度 平成27年度超 20.3%超
	3. 子育てと両立する創業・雇用の創出	育児を行う女性が就業・創業準備時間を確保するための機会や施設の提供	市内の事業所内保育所の数	3箇所	3箇所	3箇所		各年度 平成27年度超 3箇所超
		職場と子育て支援施設の連携	保育所・こども園の延長保育の実施割合	80%	80%	80%		最終年度100%
		柔軟な時間選択による多様な働き方の増加	フレックスタイム導入企業数	-	-	-		最終年度 平成27年度超
		在宅ワーク（テレワーク、クラウドソーシング等）の普及	テレワーク利用者数	-	-	-		最終年度 平成27年度超

基本目標	到達目標	施策	KPI・指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	平成31年度目標
基本目標 (新しいひとの流れをつくる) 「回遊する人材を定置網のように受け止めるまち氷見」を実現する 【めざす成果(15の観点)】 20代のUターンを増やす 氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす 定年後のUターンを増やす 20～40代のIJターンを増やす 他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす 定年後のIJターンを増やす 未就学児の親子で氷見市に引っ越し方を増やす	1. 様々な世代の氷見出身者の還流(ふるさと氷見での人材の定着)	氷見市の郷土愛育成	氷見市に愛着を感じている人の割合	42.2%	35.0%	41.6%		各年度 平成27年度超 42.2%超
		親子での氷見への転入促進・転出防止の支援	ふるさと定住促進制度の利用者数(子育て世帯)	-	39人	87人		各年度 20人
		氷見出身者の就学・活躍とUターンの支援(20代など)	ふるさと定住促進制度の利用者数(氷見市出身者)	-	23人	42人		各年度 65人
		若い女性のUターンの支援	ふるさと定住促進制度の利用者数(氷見市出身20代女性)	-	13人	27人		各年度 30人
		定年後のUターンの支援	定年後世代の移住体験申込者数	-	4人	8人		各年度 20人
	2. 「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現	20～40代の転入者が氷見に来やすく、なじみやすい体制の整備	20～40代の移住体験申込者数	-	62人	74人		各年度 100人
		氷見に住居を構え他地域に通勤する移住者への支援	ふるさと定住促進制度の利用者数(IJターン者)	-	15人	36人		各年度 20人
		大都市居住者に氷見での生活の価値を伝える活動推進	氷見市のブランドランキング(地域ブランド調査)順位	210位	195位	264位		最終年度 平成27年度超 210位超
		クリエイティブ人材の移住・定住の支援	ふるさと定住促進制度の利用者数(クリエイティブ人材)	-	-	-		各年度 5人
		「里海での生活と里山での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住の実現	氷見版CCRC受入者数	-	-	-		各年度 5人
	3. 氷見ならではの魅力・強みを生かした交流の実現	日本の魚食文化を牽引する施策の展開	海産物を食べる目的での訪問者数	232,616人	221,700人	214,200人		最終年度 平成27年度超 232,616人超
		未来を共創できるまちづくりの推進	リノベーション施設来訪者数	2,502人	819人	183人		最終年度 平成27年度超 2,502人超
		スポーツ・文化等による人口交流増加	基幹スポーツ施設利用者数	378,602人	364,904人	363,698人		未定

基本目標	到達目標	施策	KPI・指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	平成31年度 目標
基本目標 (結婚・出産・子育ての希望をかなえる) 氷見での結婚・出産・子育てを楽しみ、子どもの笑顔で満ちあふれた家庭を増やす 【めざす成果(15の観点)】 子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす 婚姻数を増やす 出生数を増やす	1. 若者が早期に結婚し、子どもを中心として家族が幸せを実感できる生活の実現	出逢いの場の創出による20代における婚姻数の増加	婚姻数	205件	205件	171件		各年度 180件
		地域の応援・支援による未婚率の低減	おせっかいさんによる引き合わせ件数	0人	26人 13組	54人 27組		各年度 100人 50組
		人生設計を考える機会の増加	人生設計を考えている若者の割合	8.4%	11.7%	9.5%		各年度 平成27年度超 8.4%超
	2. 妊娠・出産に関わる負担の軽減	安心して出産できる環境の整備	市内分娩施設数	1施設	1施設	1施設		1施設を維持
		家族が望む出産につながる不妊治療等に対する経済的・精神的負担の軽減	不妊治療助成の利用件数	(実)53件 (延)86件	(実数)47件 (延べ)95件	(実数)44件 (延べ)66件		各年度 平成27年度超 (実)53件 (延)86件超
		妊娠・出産・子育ての切れ目無い支援の推進	出産前後の相談件数	577件	566件	522件		各年度 平成27年度超 577件超
	3. 仕事と家庭の両立をしながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現	子育てや教育に関わる経済的・精神的負担の軽減	子育てや教育に不安を感じたとき身近に相談する人がいる子育て世代の割合	48.3%	42.5%	42.0%		各年度 平成27年度超 48.3%超
		子どもの生きる力を育成する魅力のある保育・教育の充実	両親等と学校での出来事の話、学校へ行くのが楽しいと回答する割合	81.9%	83.5%	85.9%		各年度 85.0%
		子育てと両立するワークライフバランス推進	夫の家事や育児参加に満足している妻の割合	16.8%	16.7%	24.5%		各年度 平成27年度超 16.8%超
		子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備	子どもが安心して遊んだり、学べる環境だと思う子育て世代の割合	14.2%	12.3%	16.4%		各年度 平成27年度超 14.2%超

基本目標	到達目標	施策	KPI・指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累計	平成31年度目標
基本目標 (時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する) 暮らし続けられるまちを実現し、地域資源を効果的に活用した魅力的な地域社会を実現する 【めざす成果(15の観点)】 長生きをする&健康寿命を伸ばす 氷見市の地方創生を実現する基盤を構築する	1. 地域に住み続けるための健康的自立	各種検査、検診の充実による早期発見	検査・健診の受診率	46.3%	45.7%	46.8% (速報値)	/	各年度 平成27年度超 46.3%超
		高齢世代の活動充実と生きがいの創出	生きがいや楽しみがある高齢者の割合	27.7%	26.6%	26.1%		各年度 平成27年度超 27.7%超
		未病(病気ではないが、健康でもない状態)対策	メタボリックシンドロームに関する検査値が正常な人の割合	68.0%	68.0%	70.0 (暫定)		各年度 平成27年度超 68.0%超
	2. おらっチャ創生(各地域・各団体等による各々の地方創生の推進)による、自分ごと・みんなごと・世の中ごとの好循環の確立	個々人の夢や希望の支援	ドリームプラン・プレゼンテーション等において夢を叶えられた人の数	8人	7人	-	/	-
		考え、行動する自治会の支援	おらっチャ創生やクリエイティブ・マイ・タウン事業等の市民提案型事業を実施する自治会等の数	3団体	13団体	12団体		最終年度 20団体
		各種業界・団体の地方創生支援	おらっチャ創生に取り組む団体数	3団体	9団体	7団体		各年度 10団体
	3. 暮らし続けられる地域社会を実現する 都市空間設計	市の公共施設・空き家の有効活用	空き家バンク登録数	26件	25件	25軒	/	常時20件が バンクに存在
		集落における拠点施設(コミュニティ施設)の整備	地域づくり協議会ごとの拠点整備の支援数	-	-	-		地域づくり 協議会 ごとに1箇所
		地域包括ケアシステムの構築	病気や介護が必要になったときに地域に頼れる人がいると思う市民の割合	25.3%	19.1%	27.0%		各年度 平成27年度超 25.3%超
		地域づくり協議会の構築と支援	地域づくり協議会設置数	5団体	5団体	6団体		最終年度 21団体 (準備会を含む)
	4. 未来共創型の自治体経営モデルの構築	集落構造に応じた交通手段の開発と支援	市内のどこかへ移動したいときに適切な公共交通手段が整備されていると思う市民の割合	7.8%	5.0%	5.9%	/	各年度 平成27年度超 7.8%超
		対話と共創による地域づくり	対話と共創の場に参加している市民の割合	2.8%	1.8%	3.3%		各年度 平成27年度超
		数値等の根拠に基づく政策の実施と検証体制の構築	市役所内における数値等の根拠に基づく検証の実施	0回	4回	1回		各年度 12回
		自治体連携の推進(広域連携・テーマ連携など)	他の自治体との連携件数	4団体	5団体	5団体		各年度 平成27年度超 4団体超
		ぶり(回遊・出世)型の地域人材育成	他組織との職員交流数	5人	5人	2人		各年度 平成27年度超 5人超
企業・大学等との共有価値の創造(CSV)		企業・大学等との連携プロジェクト実施件数	9件	12件	15件	各年度 平成27年度超 9件超		